

# 目黒区の明日を問う 代表質問と答弁 要旨

●詳細は、目黒区議会会議録または区議会ホームページの会議録検索をご覧ください。



## 財政基盤を確立し、 安全・安心の地域づくりを進めよ!

自由民主党目黒区議団 田島 けんじ 議員

14点の質問から主なものについて問う。

### <財政基盤の確立>

(1)緊急財政対策の総括、事務事業見直しの分析と反省点を伺う。(2)目黒区における「財政基盤」とはどのようなものか伺う。(3)景気に頼らない根本的な経常収支比率改善策はあるかを伺う。

**区長** (1) 全序的な取組みや歳入増で、財源不足の回避と基金の積み増しは達成できる見通し。区民生活に負担をかけたものもあるが、一方で待機児童対策等の対応も行ってきた。(2)課題に的確な対応が必要で、それを財政面で支える土台



## 目黒区の将来に 希望を見出す姿勢で臨め!

公明党目黒区議団 関 けんいち 議員

### <地方創生>

(1)区長が捉えている見解を伺う。(2)区の資源は何があると考えているかを伺う。(3)目黒区に住んで良かったと思つていただくために、何が足りないと考えているか。

**区長** (1) 時代に合った地域づくり、安全な暮らしを守ること等が、研究・検討課題と認識している。(2)基本計画の基本目標実現のための機関や団体等の活動を考えている。(3)区政に対する意識調査で重要度の高い項目は、安全で安心なまち、子育ち・子育て支援、青少年育成、福祉のまちづくりなどであった。

### <財政健全化努力の4年間の振り返り>

(1)震災時に区民のかたに、これだけは



## 小さな声を大切に!区民は共同 経営者であることを再認識せよ

刷新めぐろ 木村 洋子 議員

### <区民との情報共有>

明確な説明は、政治の責任、行政の義務である。少数の声もすくい、情報を共有する熱意が必要である。(1)区有施設見直し方針については、他計画と整合を持たせた中での具体的な提案は評価するが、区民全体への周知が足りない。きめ細かい情報の周知と共有方法を考えいくべきである。(2)人を守り、育ちを見守り、いのちの温もりを守っていくないと、どんな改革も砂上の楼閣になる。予算は少額でも、継続することで伝えられていく施策もあり、区民とともに成長する行政が求

育成を目指す。

### <災害に強い安全・安心の地域づくり>

(1)東日本大震災から4年が経過、災害に強い安全・安心の地域づくりに向けて地域防災計画を改善したのか、具体的にどのような防災環境を整備していくのか伺う。(2)区民センターは目黒駅に近く、帰宅困難者を収容する可能性があるが、老朽化が著しく耐震基準も下回っている。民間活力を活用した、抜本的な改築と敷地の有効利用が必要だが、今後の構想を伺う。

### <職員の人材育成>

今後、区の人口が減少する中で、職員は増員できない。多種多様化する行政需要に

対応するため、管理職も含め人材育成が肝要と考えるが、区長の考え方を伺う。

**区長** 管理職を含め職員全体の能力を高める必要があるため、人材育成用基本方針に掲げた職員像を育成目標として、引き続き区民の期待に応えられる人材の

多機能化、集約化や複合化による機能移転などについて検討していく。

### <2020年オリンピック・パラリンピック>

(1)区長の言う目黒区のおもてなしについて伺う。(2)都・オリンピック委員会と連携を密にして関連施設の誘致をする必要があるが、今後の取組みと区の姿勢を伺う。(3)小・中学生が、競技者・観覧者・ボランティアなどに積極的に関わっていく教育活動について伺う。

### 教育長

(1)お客様への待遇や振る舞い方などで、標識や案内サイン、観光案内の多言語化等に取り組む。(2)当面は気運醸成と情報収集に努める。練習会場候補は施設改善等に課題があるため、財源対応などを見通しながら判断していく。(3)都のオリンピック教育推進校の指定を受けた学校では、オリンピアンなどを学校に招き、交流や講演を行っている。

ネジメント制度の中で改善提案を取り組んでいる。引き続き職員の改善意識が高まるよう努めていく

### <実施計画・行革計画改定>

(1)学ぶ姿勢から程遠い状況が学校で散見されるところもあったが、実施計画での対応について所見を伺う。(2)商店街活性化に向け、アドバイザーを派遣し、何度もチャレンジする機会を与え修正しながら効果を高めるよう支援強化について、所見を伺う。(3)行革計画にある民間活力活用における行政評価は、区民の視点で行われるよう留意すべきだが、所見を伺う。(4)区有施設の新たな需要について所見を伺う。

**区長** (1) 目黒区観光ビジョンで掲げている「おもてなし」プログラムの推進、国際交流協会と連携した区の知名度を高めた対応を図るべきだが、所見を伺う。

**教育長** (1) 家庭・地域・学校との連携に努め、めぐろ学校サポートセンターによる支援の強化など、学校への指導・支援の充実を図る。

**区長** (2) 自発的事業の発案・実施で商店街振興等を図る商店街プロモーション

事業を実施し、アドバイザーの活用も検討していく。(3)今後、民間活力活用の考え方を整理する中での検討課題とする。(4)医療や介護が必要になっても安心して住み続けられるよう、高齢者の住まいの確保に努めていく。

### <グローバル社会に向けて>

(1)2020年までに区内回遊が果たせる動線づくりは早急に構築すべきだが、所見を伺う。(2)海外でたくましく仕事や生活をする力を育むために、義務教育の期間に海外との文化の違いを伝えていく必要性について、所見を伺う。

**区長** (1) 目黒区観光ビジョンで掲げている「おもてなし」プログラムの推進、国際交流協会と連携した区の知名度を高めた対応を図るべきだが、所見を伺う。

**教育長** (1) 平成25年3月に全戸配布した「めぐろ防災マップ」に、ポイントを簡潔にまとめた。(2)全職員が財源確保の意識を持つことが重要である。私自身が先頭に立ち、全局的に取り組むよう努めていく。(3)専門家の知見、民間企業等の発想や手法などを活用し、将来を見据えた取組みを行っていく。(4)目標によるマ

た適時適切な施策を展開できる財政基盤の確立に努める。

### <地方分権改革を踏まえた今後の区政運営>

(1)「就業機会の創出」は生活安定の根本にかかわる。区に労働行政の所管はないが、資金の余裕のある都に協力を強く働きかけ、区の姿勢を示してほしい。(2)生活安全パトロールは都の仕事である。厳しい区の予算で肩代わりするのではなく、早急に都に業務をゆだねる体制を取るべきである。

**区長** (1) 地方公共団体は、国との適切な役割分担の下、区域の実情に応じた自主的な施策を策定、実施する責務を有することとなった。国・都の動向を注視し、関連団体との連携による就労支援充実策においては、先駆的な取組みを進めてきた。介護保険制度改革などに対応した施策の展開、区民への分かりやすい情報提供などが必要であり、安心してサービスが利用できるよう区民の不安解消に努める。

### <区民の安心と安全>

められるが、どう考えるか。

**区長** (1) 区有施設見直しは、区の将来展望を切り拓く重要な取組みであり、一連の経緯は全てホームページで公表している。施設見直しの具体化を図るために、視点の一つ「的確な情報を発信・公開して、区民との問題意識を共有する機会を設けること」は、見直し実現に欠かせないものと考え、取り組んでいく。(2)多様化する行政需要への的確な対応と、継続的かつ総合的な区民福祉の向上が求められている。地域の活動団体等との連携協力して取り組むことが効果的である。

**区長** (2) ハード面の予防対策には、財源基盤の確保も重要である。今後も、指摘の趣旨を踏まえ、より一層、自助、共助を推進する。(2)在宅療養や認知症施策においては、先駆的な取組みを進めてきた。介護保険制度改革などに対応した施策の展開、区民への分かりやすい情報提供などが必要であり、安心してサービスが利



## 地方自治体本来の役割に立ち返り 区民生活支援を

日本共産党目黒区議団 岩崎 ふみひろ 議員

### <地方創生と地域経済>

(1)社会保障切り捨てを是と考へているのか。(2)消費税増税を前提とした「地方創生」では、地方財政にとってマイナスになると考へないのである。(3)「地方創生」追隨ではなく、目黒区独自の地域経済の活性化策、すなわち非正規雇用者の正規雇用化、公契約条例制定を早期に行うべきだと思うが、いかがか。

### <区民生活支援を>

(1)緊急財政対策や施設使用料、保育料の引上げなどは、国の悪政に追従し区民生活に追い打ちをかけ、地方自治体として住民生活を支える立場が欠落していたと考えるが、いかがか。(2)区立学童保育クラブの民間委託や、区立保育園を手放す計画、図書館の民間委託拡大などのさらなる民営化の推進、受益者負担の考え方に基づく施設使用料や保育料の引上げ

への検討など、「行革計画」は改めよ。(3)国民健康保険料や介護保険料の引下げのために一般会計からの繰入れを行うべきだが、いかがか。

**区長** (1) 区民の生命・健康・財産への影響が大きい高齢者、障がい者、子どもにもかかる分野は優先度を高くし、区民サービスの継続的な提供に努めた。(2)社会経済状況が変化する中で、良質なサービスの安定的提供が求められている。今後も不斷の行財政改革に取り組み、継続的かつ総合的に区民福祉の向上を図っていく。(3)一般会計からの繰入れは、被保険者以外への負担転嫁の問題や繰入れが常態化する懸念などがある。一般会計繰入れによる保育料の引下げは行わない。

### <防災・減災対策>

(1)木造住宅の耐震診断の無料化、耐震改修工事費への助成額のアップ、高齢者・障がい者世帯もあり、所得に応じた助成額にすることが効果的である。耐震診断無料化、耐震改修助成額アップは考えていない。(2)国のガイドライン策定後、一定の考え方を示されると考えるので、引き続き情報収集や調査研究に努める。

ひとりぐらし高齢者・障がい者への感震ブレーカー(※)の設置を先行して進めるべきだと考えるがいかがか。

**区長** (1) 耐震化促進のためには耐震改修まで行うことが重要で、耐震改修を行う人に有利な制度になっている。所得がある高齢者、障がい者世帯もあり、所得に応じた助成額にすることが効果的である。耐震診断無料化、耐震改修助成額アップは考えていない。(2)国のガイドライン策定後、一定の考え方を示されると考えるので、引き続き情報収集や調査研究に努める。

**[用語解説]**  
※感電ブレーカー：地震の揺れをセンサーが感知し、あらかじめ設定しておいた震度以上の場合に配線用ブレーカー又は漏電ブレーカー等を遮断する器具。

は、終戦から70年、平和都市宣言30周年、平和の取組み充実についても述べた。平和の尊さ大切さ、基本的人権の尊重を区民の皆さんが実感できることが重要。宣言文に込められた思いは、今まで区民の皆さんと共にしているものと考え、重ねて区長談話を発表する考えは持っていない。

**[政務活動費不正使用問題]**  
最高裁判所第2小法廷は自民党目黒区議の政務活動費(旧政務調査費)不正使用問題に関し、裁判官全員一致で受理しないという決定を26年12月3日付けで行ったが、青木区長は何をもって申立てたのか伺う。

**区長** 第一審と第二審の判断が異なる部分があったことから、最高裁判所の判断を仰ぐこととした。

**[用語解説]**  
※目黒区子ども施策推進会議：区長が、子どもの権利を尊重し、子育ちを支えるまちづくりに関することについて、専門的な意見などを聞く機関。

## 傍聴においでください

### 平成27年第2回定例会の予定

6月17日(水)	議会運営委員会・本会議(一般質問)
18日(木)	本会議(一般質問)
19日(金)	議会運営委員会・本会議(議案付託)
22日(月)	常任委員会
23日(火)	常任委員会
30日(火)	議会運営委員会・本会議(議案議決)

\*本会議の開会は午後1時、各委員会の開会は午前10時の予定です。

<問い合わせ>区議会事務局庶務係 ☎03-5722-9413

## 請願・陳情の受付についてお知らせします

請願・陳情は区政に関する事柄等について、区民の皆さんが直接、区議会に要望できる制度です。

請願には議員の紹介が必要です。議員の紹介がない場合は陳情となります。区議会では請願と同様に処理いたします。

受付は常時行っていますが、定例会の会期中の委員会で審査するため、事務の手続き上、会期の約1週間前(区役所が休みの日を除く)までに提出していただいている。この締切日は、めぐろ区議会だより・めぐろ区報・目黒区議会ホームページでお知らせしています。

請願・陳情は直接提出していただくことを原則とし、郵送によるものは審査しないことがあります。平成27年第2回定例会で新たに請願・陳情の審査を希望される場合は、6月9日(火)正午までに提出してください。

<問い合わせ>区議会事務局議事・調査係 ☎03-5722-9414